

英語科学習指導案

科 目	授業学級	授業場所	使用教科書	授業者
コミュニケーション英語 I	1年4組 (普通科) 40名 (男子20名, 女子20名)	1年4組	Grove English Communication I	中島 真理子

1 単元 (題材) 名

Lesson 5 Brightening the future

2 単元 (題材) の目標

- (1) 山形県立東根高等学校の生徒のプロジェクトに関心を持ち、意欲的に自分の将来の夢について書いたり、話したりしようとする。
- (2) 絵や写真を見ながら、内容を英語で説明し、自分の考えや意見を話したりする。
- (3) 読んだ文章を正しく理解する。
- (4) 新しい語彙、分詞の形容詞的用法、to不定詞の形容詞的用法、受動態について理解し、さまざまな言語活動の中で使う。

3 単元 (題材) の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現へ能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①ペアやグループでの活動に積極的に取り組もうとしている。 ②意欲的に自分の意見を書いたり話そうとしている。 ③クラスメートの意見や発表を積極的に理解しようとしている。 ④間違いを恐れず英語を使おうとしている。	①読んで理解したことに基づき、英語の要約文の空所を埋めることができる。 ②内容が伝わるように音読することができる。 ③絵や写真の内容を英語で説明するとともに、自分の考えや意見を伝えることができる。	①事実関係を正確に読み取ることができる。 ②内容を正確に聞き取ることができる。 ③質問や指示などに適切に応答することができる。	①新しい語彙や熟語の発音・意味を理解している。 ②分詞と to不定詞の形容詞用法を理解している。 ③受動態の文の構造と意味を理解している。

4 単元 (題材) の指導計画 (全9時間)

時	主な学習内容
第1時	導入 文法事項の確認
第2時	Part 1 新出単語・表現・内容の把握, 音読(chunk reading・sight translation)
第3時	Part 1 書き込みノートの確認, 本文音読(reading relay・shadowing check・read and look up), 要約, 表現活動
第4時	Part 2 新出単語・表現・内容の把握, 音読(chunk reading・sight translation)
第5時	Part 2 書き込みノートの確認, 本文音読(reading relay・shadowing check), 要約, 表現活動
第6時	Part 3 新出単語・表現・内容の把握, 音読(chunk reading・sight translation)

第7時 本時	Part 3 書き込みノートの確認, 本文音読 (reading relay・shadowing check), 要約, 表現活動
第8時	“Put It All Together” “Make It Your Own” 内容把握, 文法確認 表現活動
第9時	“Communication Corner” “Reading Skills” 内容把握, 表現活動

5 教材 (単元・題材) 観 (単元概要)

モンゴルからの女子留学生, エンプボルド・ボロルトヤさんが, 山形県立東根工業高校に来て, 生徒たちの前で自分の将来の夢を語り, 自分の国で問題になっている大気汚染問題を解決したいと語った。その彼女の抱負を聞いた生徒たちは感動し, 自分たちにできることはないか考え, 太陽光パネルを作ってモンゴルに持って行くことになる。このプロジェクトは成功し, モンゴルの彼女の母校だけにとどまらず, 生徒たちはバングラデシュにも出向き, 太陽光発電システムを紹介・助言し, 大きな国際貢献を果たした。

自分たちと同じ高校生たちが学校で習得した技術によって, 国際貢献を果たした事実を知ることによって, 自分たちにも何かできるのではという発想から, 将来への明るい展望を持ち, 社会貢献への意欲を持たせたい。

6 生徒観 (生徒の実際)

本学級は普通科クラスで, 多くの生徒が進学を希望している。習熟度・学習意欲や英語への関心はさまざまであり, 自分の考えを伝えたり, 発表することに苦手意識を持つ生徒も多いが, 全体的に授業での活動に積極的に取り組んでいる。また互いに助け合いながら学ぼうとする雰囲気がある。

7 指導観

将来について考える機会は多くあるが, 仲間とそれについて語る時間は多くない。そこで本課を通して, 将来の展望を仲間と語ることでそれを再確認し, また自分の意見を述べるのが苦手な生徒にとっては, より身近な話題であることから発言できる機会になると考えた。

8 本時の実際

(1) 本時の目標

- ①教科書の内容を伝えることを意識して音読することができる。
- ②絵を見ながら, 読み取った内容を英語で話すことができる。
- ③どのような社会貢献ができるか, 将来について友達と話すことができる。
- ④グループで将来についてさらに具体的な説明を英語で加えることができる。

(2) 本時の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現へ能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
意欲的に自分の意見を書いたり話そうとしている。 クラスメートの意見や発表を積極的に理解しようとしている。	内容が伝わるように, 音読することができる。 絵の内容を英語で説明し, 自分の考えや意見を話すことができる。	内容を正確に聞き取ることができる。 質問や指示などに適切に応答することができる。	

(3) 本時の展開

時間 (分)	活動	生徒の活動	教師の活動	評価規 準	技 能
5	あいさつ Conversation drill	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・クラスメート数人と会話をす る。 ・会話した<u>クラスメートについ て話を</u>する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・質問を指示する。 ・数名の生徒に発表させる。 		L S
7	Review and Presentation of today's goals	<ul style="list-style-type: none"> ・書き込みノートの答え合わせ をする。 ・目標を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き込みノートの答えを提示 する。 ・目標を提示する。 		L S
8	Oral Reading	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで本文を一文ずつ交互に 読む。 ・ペアでシャドーイングをチェ ックする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読の方法を指示する。 ・本文のCDを流す。 	イ-②	L S R
8	Output Activity A	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリーの文を参考にしながら、<u>絵を見て、本文の内容を英 語で話す。</u> ・ペアの一人が聞き役になり、 終わったら交代する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視を行い、作業に困難 を感じている生徒へアドバイス する。 ・それぞれのパートナーに話を させる。 	イ-③	L S
20	Output Activity B	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな職業についてどのよう に社会貢献したいかを書いた4 人の英文を黙読し、何の職業な のか考える。 ・4人グループで答え合わせを する。 ・<u>自分がどんな職業に就き、ど のように社会貢献したいかを書 く。</u> ・グループで発表する。 ・グループで一人の英文を取り 上げ、さらに具体的な内容の英 文を一つ加える。 ・<u>グループの代表が発表する。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・後で自分がどんな職業に就き、 どのように社会貢献したいかを 書いてもらうことを伝える。 ・4人グループを作らせる。 ・自分がどんな職業に就き、ど のように社会貢献したいかを書 かせる。 ・グループで一人の英文を取り 上げることを伝える。 ・グループの代表が発表するこ とを伝えておく。 ・いくつかのグループに発表さ せる。 	ア-② ア-③	R W S L
2	Closing	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を確認する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の指示を行う。 ・挨拶をする。 		